

◎（独）大学改革支援・学位授与機構から学士の学位授与による 測量士補登録申請書 記載要領

○記載に当たっての注意点

- ・第一面に記載された事項は「測量士補名簿」の記載事項となります。
- ・様式は、国土地理院ホームページからダウンロードできます（パソコン等での作成も可です）。
- ・記載事項を訂正・修正するときは、訂正する文字を＝線で消して書き直してください。訂正印は必要ありません。修正液・修正テープ等を用いた修正はできません。

第一面

- ①「測量士」の文字を＝線で消してください。（3か所あります。）
 - ②「×印」欄は記載しないでください。（国土地理院が記載する欄です。）
 - ③「申請年月日」
 - ・「登録申請書」を提出する日を記載してください。
 - ④「住所・氏名」
 - ・申請者の現住所（郵便物の届く住居表示）を正確に記載してください。
 - ⑤「氏名」「フリガナ」
 - ・この欄に記載された漢字で「測量士名簿」に登録されますので正確に記載してください。
 - ・間違いやすい漢字は、必ず、楷書でわかりやすく記載してください。
（人名漢字、旧字、外字等で、名簿に登録できない字もあります。）
 - ・フリガナを必ず付けてください。
 - ・旧姓使用を希望する方については、「測量士名簿」の氏名に旧姓を併記しますので、氏と名の上に（ ）書きで旧姓を記載してください。
- (注) 次に該当する場合は、「氏名変更後の戸籍抄本」、「氏名変更の記載があるマイナンバーカード（おもて面）」の写しなど、変更前と変更後の氏名が確認できる書類を添付してください。
- (イ) 添付された各証明書類に記載された氏名と現在の氏名とが異なるとき
 - (ロ) 測量士補の登録時の氏名と現在の氏名とが異なるとき
 - (ハ) 旧姓使用を希望（旧姓を併記）するとき

⑥「性別」

- ・該当するものに○印をつけてください。

⑦「生年月日」

- ・元号で記載してください。（西暦では記載しないでください。）

⑧「専門とする測量の分野」

- ・専門とする測量の分野を記載してください。
(例：基準点測量、写真測量、数値地形測量、路線測量、河川測量、用地測量、地籍調査、地図調製、航空レーザー測量、地上型レーザー測量等)
- ・該当するものがない場合は空欄のままで結構です。

⑨「事務所又は業務所」

- ・現在の勤務先（本店・支店・営業所）の名称及び所在地を記載してください。
- ・現在の勤務先が共同企業体（JV）の場合は、所属する会社名を記載してください。（現場作業所、事務所等は記載しないでください）
- ・測量と関係のない勤務先の場合等は記載されなくても結構です。

⑩「勤務先における職務の内容」

- ・勤務先での職務の内容を簡潔に記載してください。
- ・記載がなくても結構です。

⑪「測量士となる資格」（測量法第 50 条該当者）

- ・測量法第 51 条第 5 号該当者の欄に○印をつけてください。

⑫「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構からの学士の学位授与の要件となった大学その他の教育施設における課程」

- ・「学位を授与された日」および学士の授与の要件となった教育機関の「大学等の名称」「履修した課程」「入学した日」「卒業又は履修を完了した日」を記載して下さい。
- ・履修した大学等が 3 つ以上ある場合は 3 つ目以降は、備考欄への記載をお願いします。

⑬「備考」

- ・履修した大学等が3つ以上ある場合は3つ目以降を記載して下さい
- ・記載内容に関する問い合わせ等ができる連絡先(勤務先又は自宅等の電話番号)を記載してください。

⑭「収入印紙」 (登録免許税額：測量士 15,000 円)

- ・収入印紙で納付される方は、所定の箇所に貼付してください。消印はしないでください。
- ・現金で納付される方は、税務署等で受け取った「国税収納金整理資金領収証書」(正本)(コピーは不可)を第二面の「登録免許税納付書・領収証書貼付欄」に貼付してください。税務署名は、必ず「土浦税務署」としてください。これ以外の税務署は無効となります。また、氏名欄には、申請者本人の氏名を記載してください。

第二面 ※記載する事項はありません。

記載例（第一面）

（学位授与機構からの学位授与による測量士補申請）

① 測量士 登録申請書

どちらか一方を二線する。

(消印はしないでください)

⑭ 収入印紙

・「国税収納金整理資金納付書」の領収証書（原本）は第二面に貼付してください。

②

× 登録番号	× 登録年月日	令和 年 月 日
--------	---------	----------

私は、~~測量士~~ 測量士補 の登録を受けたいので、測量法第49条の規定により、別紙資格を証する書類を添えて登録の申請をします。

③ 令和 年 月 日

④ 住 所 _____
氏 名 _____

⑤ 国土地理院長 殿

イ	フリガナ	※性別	⑥ 男 女
	氏名	生年月日	⑦ 年 月 日

専門とする測量の分野	基準点測量	⑧ 写真測量	路線測量						
------------	-------	--------	------	--	--	--	--	--	--

自分の専門とする測量分野を記載する。
基準点測量、写真測量、数値地形測量、路線測量、河川測量、用地測量、地籍調査、地図調製、航空レーザ測量、車載写真レーザ測量、などを具体的に記載する。

⑨ 事務所又は業務所	勤務先における職務の内容 ⑩
名称	現在の勤務先（支店等含む）を記載する。
株式会社 国土交通コンサルタント	〒〇〇〇-〇〇〇〇 茨城県つくば市〇〇1-10-2 現場主任

ロ	※ ⑪ 測量士・測量士補となる資格（該当する方に○を記載してください）	測量法第50条第6号該当者	同法第51条第5号該当者
		○を記載する	○

ハ	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構からの学士の学位授与の要件となった大学その他の教育施設における課程 ⑫	学位を授与された日	令和6年 11月 30日
大学等の名称①	〇〇工業高等専門学校	入学した日	平成22年 4月 1日
履修した課程	〇〇学科	卒業又は履修を完了した日	平成27年 3月20日
大学等の名称②	〇〇大学	入学した日	令和1年10月 1日
履修した課程	〇〇学部〇〇学科〇〇課程	卒業又は履修を完了した日	令和3年 3月25日
⑬ 備考	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 令和4年10月1日入学 令和6年3月20日履修完了 自宅 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 勤務先 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		

問い合わせ等が連絡可能な連絡先を必ず記載してください。

記載例（第一面）

（学位授与機構からの学位授与
による測量士申請）

二 の 1	測量に関する実務の経歴				登録免許税納付書・領収証書貼付欄		
	事務所又は業務所		測量に関する経歴	経 験 年 数		※ 証明区分	
	名 称	所 在 地		年 月 日 から 年 月 日 まで	期 間	証 明 書	誓 約 書
二 の 2	従事した主な測量作業				計	年 月	
	作業種類	作業地域	作業方法	従事技術	作業場所	作業期日	備考
						から まで	
						から まで	
						から まで	
						から まで	
ホ	測量士試験・測量士補試験		合格証書日付 年 月 日		合格証書番号 第 号		
	備考 1. 測量士又は測量士補の文字の一方を消すこと。 2. 測量法第50条第6号該当者は、ロ、ハ、二の1、二の2の欄、同法第51条第5号該当者はロ、ハの欄に、それぞれ該当事項を記入すること。 3. ハ又は二の1の欄の記入事項については証明書又は誓約書を添えること。 4. 二の2の欄には従事した主要な測量作業について記述すること。 5. ※印欄は○印をつけて区分すること。 6. ×印欄は記入しないこと。						
測量士補が測量士となる場合の記入欄			測量士補登録番号第 号		年 月 日登録		